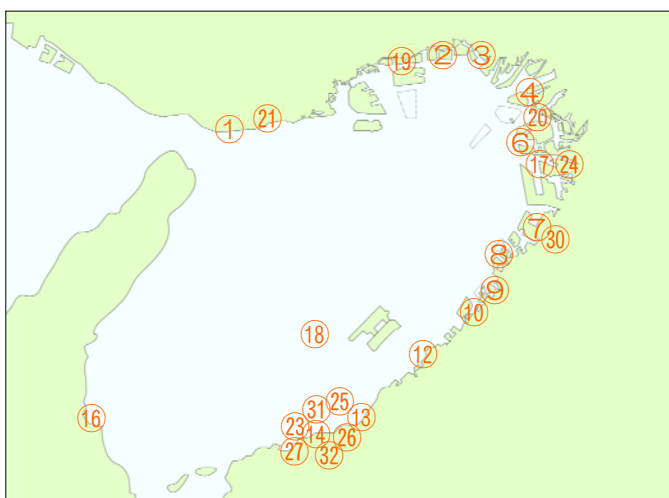


# 平成30年度 第11回大阪湾生き物一斉調査について

## 1. 調査概要

平成30年度は、5月26日を中心に、大阪湾沿岸域の25地点と大阪湾内（スナメリ調査）において、34団体、1,306名が参加して、第11回大阪湾生き物一斉調査を実施しました。調査地点及び担当団体等は図1に示すとおりです。



【大阪府内】

調査地点	担当団体
4 神崎川河口（矢倉海岸）	西淀自然文化協会[5/26]
20 天保山	海遊館[5/26]
6 野島園臨港緑地（大阪南港野島園）	NPO法人 南港ウェットランドグループ[6/10]
17 堺浜友海ビーチ（堺2区生物共生型護岸）	(公社)大阪自然環境保全協会[5/27]
24 堺浜自然再生ふれあいビーチ	(公社)大阪自然環境保全協会[5/12]
7 高師浜	高石ジュニア自然大学、浜寺公園自然の会[5/26]
30 浜寺水路	浜寺公園自然の会 [5/19]
8 大津川河口（左岸）	きしわだ自然資料館[6/16]
9 阪南2区造成干潟	きしわだ自然資料館[6/15]
10 近木川河口	貝塚市立自然遊学館[5/27]
	NPO法人 シニア自然大学 調査研究部 森と海の自然科[5/31]
12 榎井川河口・岡田浦海岸	男里川干潟を守る会、大阪府立泉鳥取高等学校 フィールドワーク部[5/26]
13 男里川河口干潟	男里川干潟を守る会、きしわだ自然資料館[6/3]
25 尾崎海岸	(公社)大阪自然環境保全協会（海のふしぎ観察会）[6/16]
26 波有手海岸	NPO法人 環境教育技術振興会、フロロジス[5/18]
	西鳥取小学校、関西大学北陽高等学校、NPO法人 環境教育技術振興会[6/14]
31 西鳥取海岸	セブンイレブン記念財団、大阪湾沿岸環境創造研究センター[6/2]
	舞小学校、関西大学北陽高等学校、大阪湾沿岸環境創造研究センター[6/29]
32 箱作海岸	下荘小学校、関西大学北陽高等学校、大阪湾沿岸環境創造研究センター[5/16]
14 せんなん里海公園	里海くらぶ連絡協議会、NPO法人 釣り文化協会[5/26]
23 長松海岸	(公社)大阪自然環境保全協会（自然環境市民大学、空の会）[6/13]
18 大阪湾[けり調査]	大阪ECO動物海洋専門学校、海遊館[5/16、7/14]
27 深日漁港干潟	岬町立岬中学校、一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア事務局 [5/26]

【兵庫県内】

調査地点	担当団体
1 アジュール舞子	須磨海浜水族園ボランティア[5/26]
21 須磨海岸	須磨海岸生物調査研究所[6/16]
19 住吉川河口	神戸市立須磨海浜水族園、豊かな森川海を育てる会[5/20]
2 香櫛園浜	西宮市貝類館[6/2]
3 甲子園浜	NPO法人 海浜の自然環境を守る会[5/26]
16 洲本市大浜海岸	神戸市立須磨海浜水族園、成ヶ島を美しくする会 [6/2]

図1 平成30年度の調査地点一覧

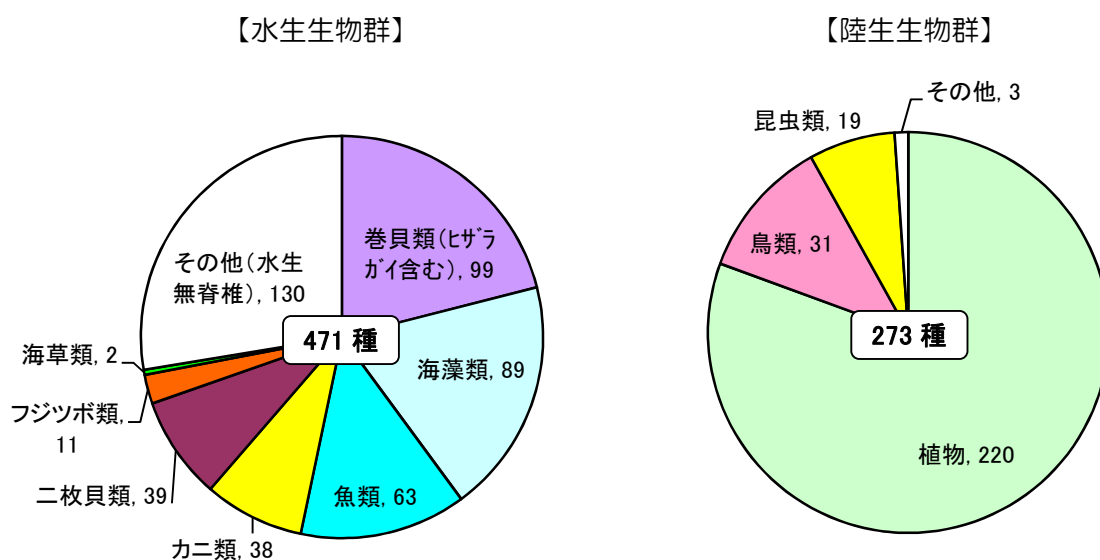
## 2. 出現種

本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を表1に示しました。

種名まで判別した種類は744種（うち、調査シート掲載種42種）でした。

水生生物群では、海藻類及び海草類が91種、動物は貝類が138種（巻き貝99種、二枚貝39種）、魚類が63種、カニ類が38種等でした。また、陸生生物群では、陸上植物が220種、鳥類が31種等でした。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWF、干潟の絶滅危惧動物図鑑の各RDBと環境省のレッドリスト（2018年）に掲載されている種に該当するものを付表に示しました。全体の貴重種としては91種類（属含む、陸生種除く）が該当しました。このうち、海藻・草類はスジアオノリ、ホソアヤギヌ、コアマモ等の4種、動物では、貝類がイボウミニナ、ウミニナ、エドガワミズゴマツボ、スジウネリチョウジガイ（新規）、ミルクイ（同）、ムラサキガイ（同）等の44種、多毛類がスゴカイイソメ、タマシキゴカイ等の6種、カニ類はオサガニ、トリウミアカイソモドキ（新規）、ユビアカベンケイガニ等の16種、魚類はアユ、ニホンウナギ等の5種、その他はスジホシムシモドキ、ハスノハカシパン、ヒモイカリナマコ等の10種等でした。



注) 1.数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生類、陸生無脊動物を含む。

図2 平成30年度出現種の分類群別種数

表1(1) 出現種一覧(平成30年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名		
海藻類	緑藻類	1	アオサ属(アオサ型)	海藻類 (続き)	紅藻類 (続き)	86	アツツナギ
		2	アオサ属(アオリ型)			87	フダラク
		3	アオアオサ			88	ベニスナゴ
		4	ウスバアオリ			89	ベニマダラ
		5	カイゴロモ			90	ホソアヤギヌ
		6	シオグサ科			91	マクサ
		7	シワランソウモドキ			92	マツノリ
		8	スジアオリ			93	マルバツノマタ
		9	ヒラアオリ			94	ミゾゴノリ
		10	ボウアオリ			95	ミツデソソ
		11	ホソジュズモ			96	ムカデノリ
		12	ボタンアオサ			97	モサズキ属
		13	ミル			98	ユカリ
		14	リボンアオサ			99	ワツナギソウ
海藻類	褐藻類	15	アカモク	100	無節サンゴモ類		
		16	アミジグサ	1	アマモ		
		17	イソイワタケ	2	コアマモ		
		18	イソガワラ	1	アオカモジグサ		
		19	イソモク	2	アオギリ		
		20	イロロ	3	アオツツラフジ		
		21	ウミウチワ	4	アカツメクサ		
		22	ウミトラノオ	5	アカメガシワ		
		23	カゴメノリ	6	アキグミ		
		24	カジメ	7	アキニレ		
		25	カヤモノリ	8	アケビ		
		26	サナダグサ	9	アメリカオニアザミ		
		27	シオミドロ科	10	アメリカセシダングサ		
		28	シダモク	11	アメリカネナシカズラ		
		29	シワノカワ	12	アメリカフウロ		
		30	タマハハキモク	13	アレチウリ		
		31	ツルモ	14	アレチギシギシ		
		32	ネバリモ	15	アレチヌスビトハギ		
		33	ヒジキ	16	アレチハナガサ		
		34	フクロノリ	17	イソギク		
		35	フトモズク	18	イタチハギ		
		36	ヘラヤハズ	19	イタドリ		
		37	ヨレモクモドキ	20	イヌコモチナデシコ		
		38	ワカメ	21	イヌタデ属(オオイヌタデ?)		
海藻類	紅藻類	39	アマノリ属	22	イヌタデ属(サクラタデ?)		
		40	イギス	23	イヌビユ		
		41	イソダンツウ	24	イヌホオズキ		
		42	イトグサ属	25	イヌムギ		
		43	イバラノリ	26	イネ科(セイヨウシバ類)		
		44	イワノカワ科	27	ウシオハナツメクサ		
		45	エチゴカニノテ	28	ウスベニツメクサ		
		46	エナシダジア	29	ウチワサボテン類		
		47	オオオゴノリ	30	ウバメガシ		
		48	オオバツノマタ	31	ウラギク		
		49	オオマタオキツノリ	32	ウラジロチチコグサ		
		50	オキツノリ	33	エノキ		
		51	オゴノリ	34	オオアレチノギク		
		52	オゴノリ属	35	オオオナモミ		
		53	オバクサ	36	オオカワヂシャ		
		54	カイノリ	37	オオキンケイギク		
		55	カギウスバノリ	38	オオシマザクラ		
		56	カバノリ	39	オオスズメノカタビラ		
		57	キブリイトグサ	40	オオブタクサ		
		58	キョウヒモ	41	オオフタバムグラ		
		59	クロソソ	42	オオマツヨイグサ		
		60	コスジフシツナギ	43	オカヒジキ		
		61	コブソソ	44	オシロイバナ		
		62	コメノリ	45	オツタチカタハミ		
		63	サクラノリ	46	オニウシノケグサ		
		64	シキンノリ	47	オニグルミ		
		65	シラモ	48	オランダミミナグサ		
		66	スギノリ	49	ガガイモ		
		67	タオヤギソウ	50	カスマグサ		
		68	タチイバラ	51	カタハミ		
		69	タンバノリ	52	カタボウシノケグサ		
		70	ツノマタ	53	カナムグラ		
		71	ツノマタ属	54	カニクサ		
		72	ツノムカデ	55	カモジグサ		
		73	ツルツル	56	カラクサナズナ		
		74	トゲイギス	57	カラスザンショウ		
		75	トサカマツ	58	カラスノエンドウ		
		76	ニクムカデ	59	カラスムギ		
		77	ハイウスバノリ	60	カローライナアオイ科		
		78	ハイテングサ	61	カワラヨモギ		
		79	ヒチリメン	62	ギシギシ		
		80	ヒトツマツ	63	キツタ		
		81	ヒメテングサ	64	ギョウギシバ		
		82	ヒラムカデ	65	キョウチクトウ		
		83	ヒラワツナギソウ	66	キンエノコロ		
		84	ビリヒバ	67	クコ		
		85	フクロフノリ	68	クサイ		

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(2) 出現種一覧(平成30年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名		
(植物) (続き)	69	クサイチゴ	(植物) (続き)	154	ノラニンジン		
	70	クス		155	ハタケニラ		
	71	クスダマツメクサ		156	ハナタデ		
	72	クスノキ		157	ハナヌカススキ		
	73	クソニンジン		158	ハナハマセンブリ		
	74	グミ属		159	ハハコグサ		
	75	クロマツ		160	ハマアオスゲ		
	76	ゲンバイヒルガオ		161	ハマウド		
	77	コウボウシバ		162	ハマエンドウ		
	78	コウボウムギ		163	ハマオモト		
	79	コメバオトギリ		164	ハマクマツヅラ		
	80	コセンダングサ		165	ハマゴウ		
	81	コニシキソウ		166	ハマサジ		
	82	コバンソウ		167	ハマスゲ		
	83	コヒルガオ		168	ハマダイコン		
	84	コマツヨイグサ		169	ハマツメクサ		
	85	コメツブウマゴヤシ		170	ハマナス		
	86	コメツブツメクサ		171	ハマナデシコ		
	87	コモチナデシコ		172	ハマニンニク		
	88	サナエタデ		173	ハマヒルガオ		
	89	ザフランモドキ		174	ハマボウ		
	90	シオクグ		175	ハマボウフウ		
	91	シナガワハギ		176	ハマボッス		
	92	シナダレスズメガヤ		177	ハママツナ		
	93	シバ		178	ハリエンジュ		
	94	シャリンバイ		179	ヒエガエリ		
	95	シラカシ		180	ヒナキキョウソウ		
	96	シロザ		181	ヒメクグ		
	97	シロツメクサ		182	ヒメコバンソウ		
	98	シロバナシナガワハギ		183	ヒメジョオン		
	99	シロバナマンテマ		184	ヒメユズリハ		
	100	スイバ		185	ヒラカンサ		
	101	ススキ		186	ヒルガオ		
	102	スズメノエンドウ		187	ヒルザキツクミソウ		
	103	スズメノチャヒキ		188	ヒロードモウズイカ		
	104	スズメノギナタ		189	ブタナ		
	105	セイトカアワダチソウ		190	フヨウ		
	106	セイトカハハコグサ		191	ヘクソカズラ		
	107	セイトカヨシ		192	ヘラオオハコ		
	108	セイバンモロコシ		193	ホウキギク		
	109	セイヨウカラシナ		194	ホコガタアカザ		
	110	セイヨウタンポポ		195	ホソバツルノゲイトウ		
	111	セイヨウヒキヨモギ		196	ホソバハマアカザ		
	112	センダン		197	ホソムギ		
	113	センニンソウ		198	ボタンヅル		
	114	タイトゴメ		199	マクワ		
	115	タイワンハチジョウナ		200	マサキ		
	116	タガラシ		201	マツヨイグサ属		
	117	タチイヌノフグリ		202	マテバシイ		
	118	タチバナモドキ		203	マメグンバイナズナ		
	119	ダンギク		204	マンテマ		
	120	ダンチク		205	ミチバタナデシコ		
	121	チガヤ		206	ミチヤナギ		
	122	ツゲ		207	ミノボロモドキ		
	123	ツタ		208	ムクノキ		
	124	ツボミオオバコ		209	ムラサキカタバミ		
	125	ツメクサ		210	メドハギ		
	126	ツククサ		211	メシバ		
	127	ツルナ		212	メマツヨイグサ		
	128	ツルメ		213	メリケントキンソウ		
	129	ツワブキ		214	メリケンムグラ		
	130	チリハノイバラ		215	モモ		
	131	トウネズミモチ		216	ヤエムグラ		
	132	トゲチシャ		217	ヤノネボテンカ		
	133	トベラ		218	ヤマアワ		
	134	ナガエツルノゲイトウ		219	ヤマノイモ		
	135	ナガバギシギシ		220	ヤマモモ		
	136	ナガミヒナゲシ		221	ヨウシュヤマゴボウ		
	137	ナギナタガヤ		222	ヨシ		
	138	ナヨクサフジ		223	ヨツバハコベ		
	139	ナルトサワギク		224	ヨモギ		
	140	ナンキンハゼ		225	ランタナ		
	141	ニワウルシ		226	ワシントンヤシ		
	142	ニワゼキショウ		1	ウスヒザラガイ		
	143	ヌカススキ		2	ウスヒザラガイ科		
	144	ネコハギ		3	カブトヒザラガイ		
	145	ネズミホソムギ		4	ケハダヒザラガイ		
	146	ネズミムギ		5	ハバガセ		
	147	ネムノキ		6	ヒザラガイ		
	148	ノイバラ		7	ヒメケハダヒザラガイ		
	149	ノグルミ		8	ヤスリヒザラガイ		
	150	ノゲシ		9	アオウミウシ		
	151	ノヂシャ		10	アオガイ		
	152	ノブドウ		11	アオガイ属		
	153	ノミノツリ		12	アカエラミノウミウシ		
				貝類	ヒザラガイ類	1	ウスヒザラガイ
						2	ウスヒザラガイ科
						3	カブトヒザラガイ
						4	ケハダヒザラガイ
						5	ハバガセ
						6	ヒザラガイ
						7	ヒメケハダヒザラガイ
						8	ヤスリヒザラガイ
					巻き貝	9	アオウミウシ
						10	アオガイ
						11	アオガイ属
						12	アカエラミノウミウシ

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(3) 出現種一覧(平成30年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名
(貝類) (巻き貝) (続き)	13	アカニシ	(貝類) (巻き貝) (続き)	98	ムツイバラウミウシ
	14	アシヤガイ		99	ムラクモキジビキガイ
	15	アシヤガマ		100	モロハタマキビ
	16	アダムスタマガイ		101	ヤマトウミウシ
	17	アマオブネガイ		102	ヤミヨキセウタ近似種
	18	アマクサアメフラシ		103	ヨコイトカケギリ
	19	アメフラシ		104	ヨコイトカケギリダマシ
	20	アラムシロガイ		105	ヨメガカサガイ
	21	アラレタマキビガイ		106	レイシガイ
	22	イシダタミガイ	二枚貝	107	アサリ
	23	イシマキガイ		108	イワガキ
	24	イソウミウシ属		109	ウスカラシオツガイ
	25	イソナ		110	ウスザクラガイ
	26	イナザワハベガイ		111	ウネナシトマヤガイ
	27	イボウミナ		112	エガイ属
	28	イボニシ		113	オハグログキ属
	29	ウスキセウタ		114	カリガネガイ
	30	ウネボラ		115	キクザルガイ
	31	ウノアシガイ		116	キヌマトイガイ
	32	ウミナメクジ		117	クチバガイ
	33	ウミナ		118	ケガキ
	34	ウミフクロウ		119	コウロエンカワヒバリガイ
	35	エダウミウシ		120	サクラガイ
	36	エドイトカケギリ		121	サルボウガイ
	37	エドガワミズゴマツボ		122	シズクガイ
	38	エビスガイ		123	スジホシムシモドキヤドリガイ
	39	エビスガイ属		124	セミアサリ
	40	オオヘビガイ		125	ソトオリガイ
	41	オーロラクチキレガイ		126	タマエガイ
	42	オトメガサ		127	チノノハナガイ
	43	カゴメガイ		128	ドブシジミモドキ
	44	カスリアオガイ		129	トマヤガイ
	45	カモガイ		130	ナミマガシワガイ
	46	カラマツガイ		131	ハカガイ
	47	カワザンショウガイ		132	ヒバリガイ
	48	キクノハナガイ		133	ヒメアサリ
	49	キシウベッコウタマガイ		134	ヒメカノアサリ
	50	クチキレガイ		135	ヒメシラトリガイ
	51	クボガイ		136	フクレユキミノガイ
	52	クモリアオガイ		137	フジナミガイ
	53	クリイロカワザンショウ属		138	ホトギスガイ
	54	クリフレイシガイ		139	ホンビノスガイ
	55	クロアワビ		140	マガキ
	56	クロヅケガイ		141	マテガイ
	57	クロミドリガイ		142	ミミエガイ
	58	コウダカアオガイ		143	ミルクイ
	59	コシダカガンガラ		144	ムラサキイガイ
	60	コビトウラズガイ		145	ムラサキガイ
	61	コベルトカニモリ		146	ヤマトシジミ
	62	コメツブガイ		147	ユウシオガイ
	63	コモレビコガモガイ	多毛類	1	Capitella属
	64	サクラアオガイ		2	Glycera属
	65	サザエ		3	Nereis属
	66	サツマクリイロカワザンショウ		4	Schistomeringos属
	67	シボリガイ		5	Spirobranchus属
	68	シマハマツボ		6	アシナガゴカイ
	69	シマメノウフネガイ		7	イソメ科
	70	スオウクチキレガイ		8	イトゴカイ科
	71	スガイ		9	イワムシ
	72	スジウネリチョウジガイ		10	ウスマキゴカイ科
	73	スズメハマツボ		11	ウミケムシ
	74	スソキレガイ		12	ウロコムシ科
	75	タマキビガイ		13	エソカサネカンザシゴカイ
	76	タマツボ		14	オニスピオ属
	77	チグサガイ		15	カナヤドリカンザシゴカイ
	78	ツメタガイ		16	カワゴカイ属
	79	トコブシ		17	カンザシゴカイ科
	80	ネジガイ		18	クマノアシツキ
	81	ヒナユキズメ		19	ケヤリムシ
	82	ヒメコザラガイ		20	ケヤリムシ科
	83	ヒモイカリナマコツマミガイ		21	ゴカイ科
	84	ヒラスカンガイ		22	コケゴカイ
	85	ブドウガイ		23	サミドリサシバ
	86	フトヘナタリ		24	サンハチウロコムシ
	87	ヘソカドガイ属		25	シライトゴカイ
	88	ベッコウガサガイ		26	スコカイイソメ
	89	ホソウミナ		27	スナイソゴカイ
	90	マダラウミウシ		28	セグロイソメ
	91	マツバガイ		29	タマシキゴカイ
	92	マツモウミウシ		30	チマキゴカイ
	93	マルウズラタマキビガイ		31	ナデシコカンザシ
	94	ミサカエクチキレ		32	フサゴカイ科
	95	ミドリアマモウミウシ		33	マダラウロコムシ
	96	ミヤコドリガイ		34	ミズヒキゴカイ
	97	ムギガイ		35	ミズヒキゴカイ科

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(4) 出現種一覧(平成30年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名
(多毛類) (続き)	36	ミロクウロコムシ	(カニ類) (続き)	30	ハクセンシオマネキ
	37	ムツエダカンザシゴカイ		31	ヒメケブカガニ
	38	ヤッコカンザシ		32	ヒメヒライソモドキ
	39	ヤマトカワゴカイ		33	ヒメベンケイガニ
	40	多毛類		34	ヒライソガニ
ヨコエビ・ワレカラ類	1	Monocorophium属	35	ヒライソガニ属(ケアヒライガニ)	
	2	アリアケドロクダムシ	36	フタバベニツケガニ	
	3	オオサカドロソコエビ	37	ママガニ属	
	4	オオゼキモクス	38	マメコフシガニ	
	5	カマキリヨコエビ属	39	モクスガニ	
	6	クビナガワレカラ	40	ヤマトオサガニ	
	7	タテソコエビ属	41	ユビアカベンケイガニ	
	8	ツガルワレカラ	42	ヨツハマゴニ	
	9	トゲワレカラ	43	ワタクズガニ属	
	10	ドロクダムシ科	魚類	1	アイナメ
	11	トンガリドロクダムシ		2	アオタナゴ
	12	ニッポンモハヨコエビ		3	アカエイ
	13	ニホンドロソコエビ		4	アカオビシマハゼ
	14	ハマトビムシ科		5	アゴハゼ
	15	ヒゲツノメリタヨコエビ		6	アゴハゼ属
	16	ヒゲナガヨコエビ科		7	アサヒアナハゼ
	17	ヒゲナガヨコエビ属		8	アナハゼ
	18	ヒメハマトビムシ		9	アベハゼ
	19	フサゲモクス		10	アミメハギ
	20	フトメリタヨコエビ		11	アユ
	21	ボシエットゲオヨコエビ		12	イシガレイ
	22	マルエラワレカラ		13	イソギンボ
	23	ミナミホソハマトビムシ		14	イダテンカジカ
	24	ムシヤカマキリヨコエビ		15	イダテンギンボ
	25	モズミヨコエビ		16	ウキゴリ
	26	ヨコエビ類		17	ウミタナゴ属
	27	ワレカラ属		18	ウロハゼ
フジツボ類	1	アカフジツボ		19	オオカズナギ
	2	アメリカフジツボ		20	オクヨウジ
	3	イワフジツボ		21	オニオコゼ
	4	カメノテ		22	カサゴ
	5	クロフジツボ		23	ガンテンイシヨウジ
	6	サンカクフジツボ		24	キュウセン
	7	シロスジフジツボ		25	ギンボ
	8	タテジマフジツボ		26	クサフグ
	9	ドロフジツボ		27	クジメ
	10	ムツアナヒラフジツボ	28	クロウシノシタ	
	11	ヨーロッパフジツボ	29	クロダイ	
ヤドカリ類	1	イザナミツノヤドカリ	30	クロダイ属	
	2	イソカニダマシ	31	コショウダイ	
	3	ケアシホンヤドカリ	32	コトヒキ	
	4	ケブカヒメヨコバサミ	33	ゴンズイ	
	5	コバカナダマシ	34	サラサカジカ	
	6	コブヨコバサミ	35	サラサカジカ属	
	7	テナガツノヤドカリ	36	シロサバフグ	
	8	ヒラトゲガニ	37	シロメバル	
	9	フトウデネジレカナダマシ	38	スジハゼ	
	10	ホンヤドカリ	39	スズキ	
	11	ホンヤドカリ属	40	スズメダイ	
	12	ユビナガホンヤドカリ	41	スミウキゴリ	
	13	ヨモギホンヤドカリ	42	ダイナンギンボ	
カニ類	1	アカテガニ	43	タイ科	
	2	アカホシマメガニ	44	タケギンボ	
	3	アシハラガニ	45	タケノコメバル	
	4	イシガニ	46	チチブ	
	5	イソガニ	47	トビヌメリ	
	6	イソクズガニ	48	トラフグ	
	7	イチョウガニ属	49	トラフグ属	
	8	イッカクモガニ	50	ドロメ	
	9	イボイチョウガニ	51	ナベカ	
	10	オウギガニ	52	ニホンウナギ	
	11	オサガニ	53	ネズツボ科	
	12	カクベンケイガニ	54	ヒガンフグ	
	13	ガザミ	55	ヒメハゼ	
	14	カネココフシ	56	ヒラメ	
	15	キンセンガニ	57	ヒラメ科	
	16	キンセンガニ属	58	フグ科	
	17	クモガニ科	59	ヘダイ	
	18	クロベンケイガニ	60	ヘビギンボ	
	19	ケブカアワツブガニ	61	ヘビギンボ属	
	20	ケフサイソガニ	62	ホウボウ	
	21	シワオウギガニ	63	ホシササノハベラ	
	22	スナガニ	64	ボラ	
	23	スネナガイソガニ	65	ボラ科	
	24	スベスベオウギガニ	66	マアナゴ	
	25	タイワンガザミ	67	マコガレイ	
	26	タカノケフサイソガニ	68	マダイ	
	27	チチュウカイミドリガニ	69	マハゼ	
	28	トガリオウギガニ	70	ミズハゼ属	
	29	トリウミアカインモドキ	71	ミズハゼ属(イソ型)	

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(5) 出現種一覧(平成30年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名	
(魚類) (続き)	72	ムスジガジ	(その他) (続き)	21	ムツサング類	
	73	ムラソイ		22	ウリクラゲ	
	74	メジナ		ヒラムシ類	23	ウスヒラムシ
	75	メジナ属			24	ツノヒラムシ
	76	メナダ属			25	ヒラムシ類
	77	メバル属			26	ミ/ヒラムシ
	78	ヨウジウオ			27	モヨウマルヒラムシ
	79	ヨロイメバル			28	ヒモムシ類
	昆虫類	1			アオスジアゲハ	29
2		アオドウガネ	30	スズメガイダマシ		
3		アミアリ	コケムシ類	31	<i>Bugulina stolonifera</i>	
4		イソユスリカ属		32	コブコケムシ科	
5		イモサルハムシ		33	コブヒラコケムシ	
6		ウミベアカバハネカクシ		34	唇口目	
7		エノキハフクレフシ		35	チコケムシ	
8		オオスナゴミムシダマシ		36	ハナザラコケムシ	
9		キチョウ		37	ホソフサコケムシ	
10		キリギリス		38	モングチコケムシ	
11		ゴマダラチョウ	頭足類	39	ヒメイカ	
12		セマダラコガネ		40	マダコ	
13		ダンダラテントウ	ホシムシ類	41	イケダホシムシ	
14		トビムシ類(昆虫)		42	スジホシムシ	
15		トンボ目(ヤゴ類)		43	スジホシムシモドキ	
16		ナナホシテントウ	ミミズ類	44	イソミミズ	
17		ナミテントウ		45	ゴミグモ	
18		ナミハナムグリ	クモ類	46	ウミグモ綱	
19		ハマオモトヨトウ		47	シマウミグモ	
20		ハマベハサミムシ	貝形虫類	48	ウミホタル	
21		バラハタマバチ		49	イソコツブムシ属	
22		ホソヒラタアブ属	等脚類	50	イソヘラムシ	
23		モンシロチョウ		51	シリケンウミセミ	
両生類	1	ヌマガエル		52	ハマワラジムシ属	
	1	クサガメ		53	フナムシ	
爬虫類	2	ミシシビアカミミガメ		54	フナムシ属	
	1	アオアシシギ		55	ヨツバコツブムシ	
鳥類	2	アオサギ		アナジャコ類	56	スナモグリ属
	3	イソシギ	57		ニホンスナモグリ	
	4	イソヒヨドリ	コノハエビ類	58	コノハエビ	
	5	オオヨシキリ		59	シネロブス属	
	6	カワウ	エビ類	60	アシナガスジエビ	
	7	カワラハト		61	エドワールテッポウエビ種群	
	8	カワラヒフ		62	イソモエビ	
	9	キジハト		63	エビジャコ属	
	10	コアジサシ		64	コシマガリモエビ	
	11	コサギ		65	スジエビモドキ	
	12	コチドリ		66	テッポウエビ	
	13	シロチドリ		67	テッポウエビ属	
	14	スズメ		68	テナガエビ	
	15	ソリハシシギ		69	ヒラツノモエビ	
	16	ダイサギ		70	ユビナガスジエビ	
	17	チュウシャクシギ	71	ヨシエビ		
	18	ツバメ	ヒトデ類	72	イトマキヒトデ	
	19	トウネン		73	キヒトデ	
	20	トビ		74	チビイトマキヒトデ	
	21	ハクセキレイ		75	トゲモミジガイ	
	22	ハシブトガラス		76	ヌノメイトマキヒトデ	
	23	ハシボソガラス		77	ヒメヒトデ	
	24	ハマシギ		78	ヒメヒトデ属	
	25	ハヤブサ		79	モミジガイ	
	26	ヒヨドリ		80	ヤツデヒトデ	
	27	マガモ	クモヒトデ類	81	トゲクモヒトデ属	
	28	ミサゴ		82	ナガトゲクモヒトデ	
	29	ムクドリ		83	ニホンクモヒトデ	
	30	メダイチドリ	ウニ類	84	サンショウウニ	
	31	メボソムシクイ		85	ハスノハカシパン	
	その他	カイメン類		1	<i>Haliclona cf. sinyeoensis</i>	86
2				カワナシカイメン属	87	ムラサキウニ
3				イソカイメン科	ナマコ類	88
4			ウスカワナシカイメン	89		イシコ
5			クロイソカイメン	90		ヒモイカリナマコ
6			ダイダイイソカイメン	91		フトゲイカリナマコ
7			ムラサキカイメン	92		マナマコ
8			普通海綿綱	ホヤ類	93	<i>Ciona</i> 属
9	アカクラゲ	94	<i>Didemnum flagellatum</i>			
10	カギノテクラゲ	95	アスキア科(ナツメボヤ科)			
11	ミズクラゲ	96	イタボヤ			
12	ウミシバ科	97	イタボヤ科			
ヒドロ虫類	13	イソギンチャク類	98		エボヤ	
	14	ウメボシイソギンチャク科	99		シロウスボヤ	
イソギンチャク類	15	スナイソギンチャク	100		シロボヤ	
	16	タテジマイソギンチャク	101		フタスジボヤ	
	17	ヒメイソギンチャク	102		ベニボヤ	
	18	ペリルイソギンチャク	103		ホヤ綱	
	19	ヨロイイソギンチャク	104		マンジュウボヤ	
	20	ヨロイイソギンチャク属	105		マンハッタンボヤ	

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

### 3. 調査シートのリスト掲載種の出現状況

#### 3-1. 平成30年度結果

調査シート掲載種の調査箇所別出現状況を表2に示しました。

なお、一連の環境で行われた近傍の地点は、出現頻度の過大評価を避けるため統合しました。

表2 調査シート掲載種の調査箇所別出現状況（平成30年度）

分類群	No.	和名/地点	地点No.																																合計
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	16	17	19	20	21	23	24	25	26	27	30	31	32							
海藻類	緑藻類	1 アナアオサ		●	●					●	●	●	●	●			●		●	●			●	●	●		●	●	●	15					
		2 スジアオリ		●	●							●	●	●	●					●			●	●	●		●	●	●	10					
	紅藻類	3 オゴノリ									●	●	●	●						●			●	●	●		●	●	●	10					
植物	1 オカヒジキ	●					●					●		●										●	●		●	●	9						
	2 コウボウムギ	●		●	●							●																	5						
	3 ハマウド				●						●														●	●	●	●	7						
	4 ハマゴウ	●	●	●							●											●							7						
	5 ハマダイコン				●							●			●								●	●	●		●	●	9						
	6 ハマボウフウ	●	●	●								●	●									●						●	8						
貝類	巻き貝類	1 アラレタマキガイ	●	●	●		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	21						
		2 イシマキガイ	●	●	●						●														●				8						
		3 イボニシ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20						
		4 タマキガイ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	21					
		5 フレリトゲアメフラシ																											0						
	二枚貝類	6 アサリ		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19					
		7 ウスカラシオツガイ		●				●	●																		●		4						
		8 ウネナシトマヤガイ		●	●	●		●	●	●				●				●	●											9					
		9 クチバガイ		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10					
		10 ケガキ	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13					
		11 コウロエンカワヒバリガイ		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12					
		12 マガキ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	22					
		13 ムラサキガイ		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17					
フジツボ類	1 アカフジツボ																●											1							
	2 アメリカフジツボ		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12						
	3 クロフジツボ																●									●	●	8							
	4 シロスジフジツボ		●		●				●																				6						
	5 タテジマフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16						
	6 ドロフジツボ		●		●													●	●										5						
	7 ヨーロッパフジツボ		●	●	●	●												●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12						
ヤドカリ類	1 ホンヤドカリ	●										●			●							●	●					8							
	2 ユビナガホンヤドカリ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	22							
カニ類	1 アカテガニ				●	●																				●		3							
	2 アシハラガニ																									●		2							
	3 イソガニ	●		●		●				●												●	●	●	●	●	●	●	14						
	4 オウギガニ																						●	●				2							
	5 クロベンケイガニ				●			●														●						3							
	6 ケフサイソガニ		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13						
	7 スナガニ			●				●																			●	5							
	8 タカメケフサイソガニ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14						
	9 チチュウカイミドリガニ		●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10						
	10 ハクセンシオマネキ		●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8						
	11 ヒライソガニ	●		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16						
	12 ヤマトオサガニ							●			●		●													●		4							
その他	1 多毛類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	25						
	2 ヨコエビ類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	25						
種類数(●の数)			13	25	23	19	13	17	19	17	27	21	19	18	13	10	22	7	20	12	11	13	24	20	16	23	18	42							

注: 1) ●:種まで同定されたもの □:種まで同定されていないもの(種数に含めない)

2) 種名は各分類群中で五十音順。

3) 地点No.10の近木川河口は2団体の調査結果を統合した。

調査シートのリスト掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図3に示しました。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第24回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に河口～内湾型や内湾～外海型の種の出現頻度が高く、マガキとユビナガホンヤドカリは25地点中22地点で確認されました。内湾～外海型の生物ではタマキビガイ、アラレタマキビガイ、イボニシが20～21地点で、河口型の生物ではタカノケフサイソガニが14地点、ケフサイソガニが13地点で確認されました。なお、今年度は調査シートに掲載された37種（海浜植物6種除く）のうちフレリトゲアメフラシが見られませんでした。

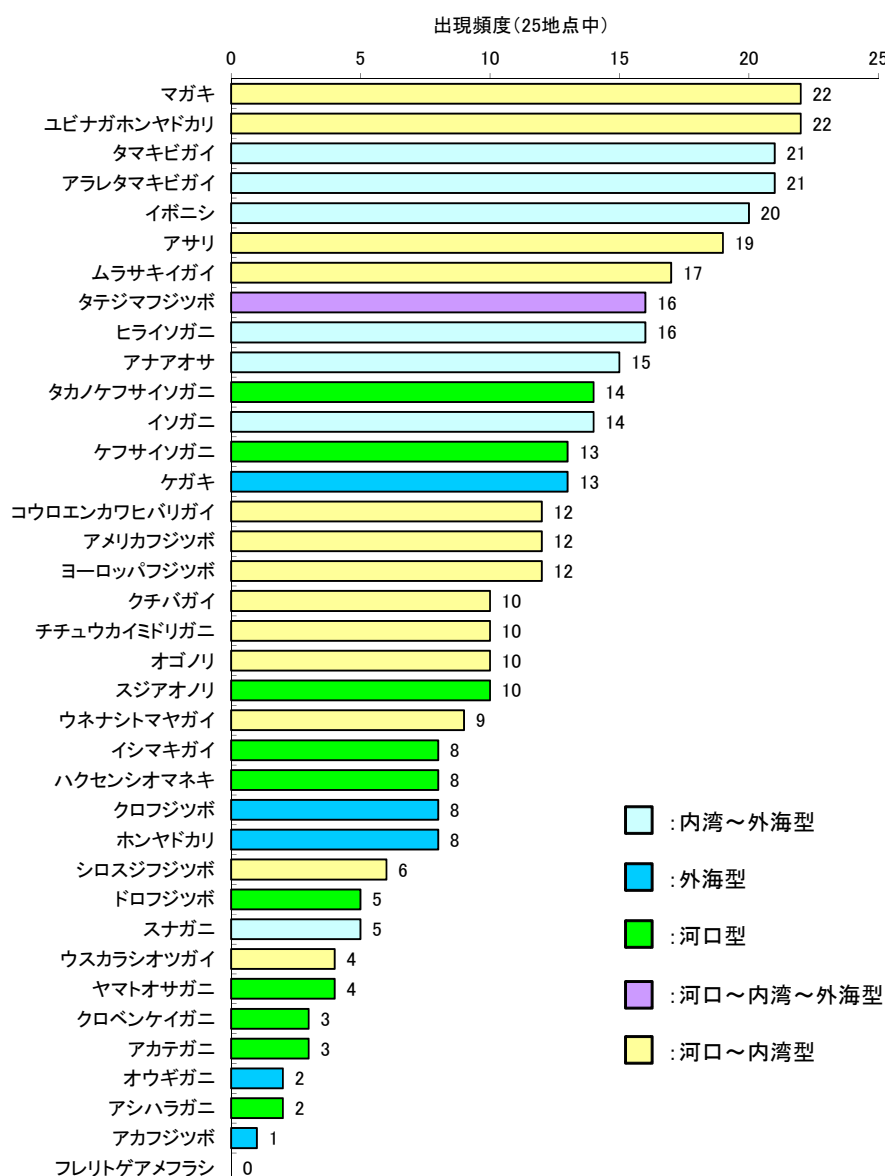
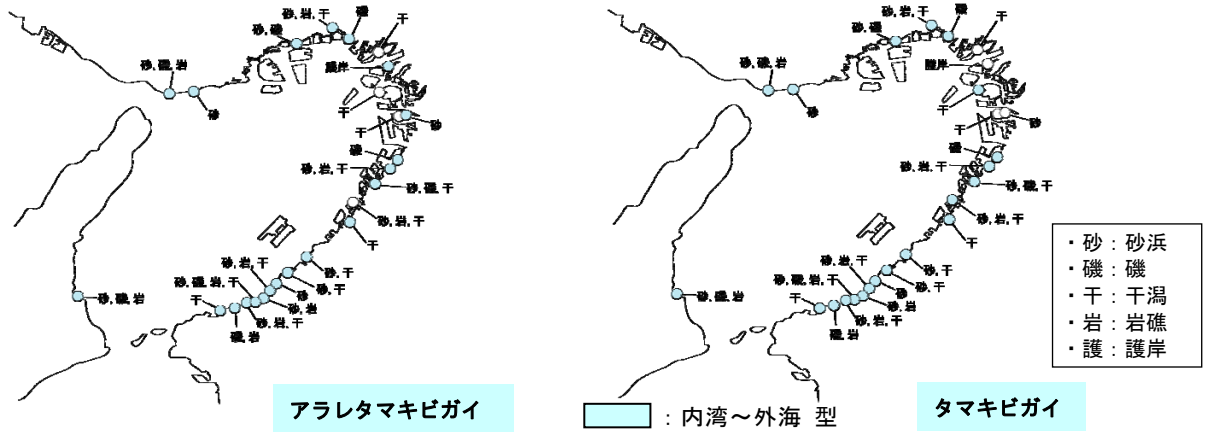


図3 調査シート掲載種の生態型と出現頻度（平成30年度）

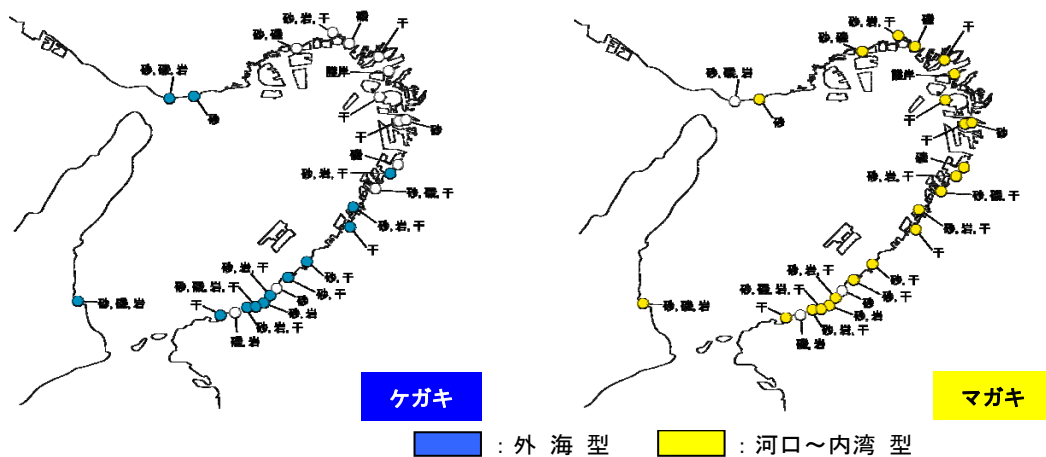
調査シートのリスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図4(1)～(4)に示しました。

貝類・ヤドカリ類

- アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型で、アラレタマキビガイは高潮帯の波しぶきの当たる所を好みますが、本年も静穏な湾奥まで広域で出現しました。タマキビガイは潮間帯に普通にみられ、河川内・河口の一部を除くほぼ全域で出現しました。



- 外海型のケガキは湾中間域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキはほぼ全域で出現しました。



- 外海型のホンヤドカリは、舞子～榎井川・岡田浦ラインより湾口側で出現しました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは湾内のほぼ全域で出現しました。

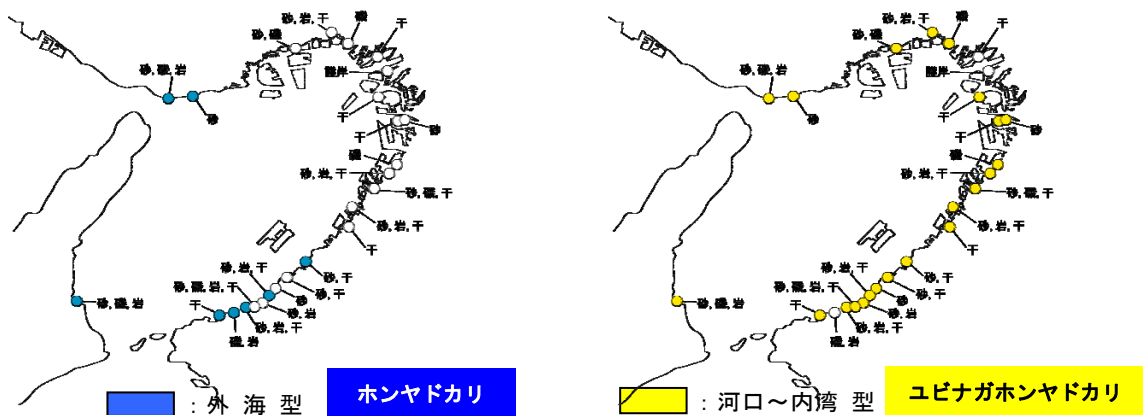
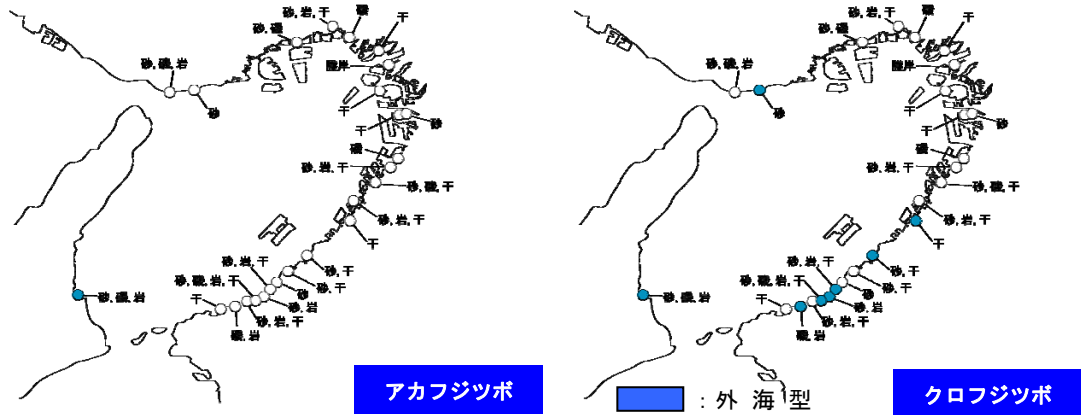


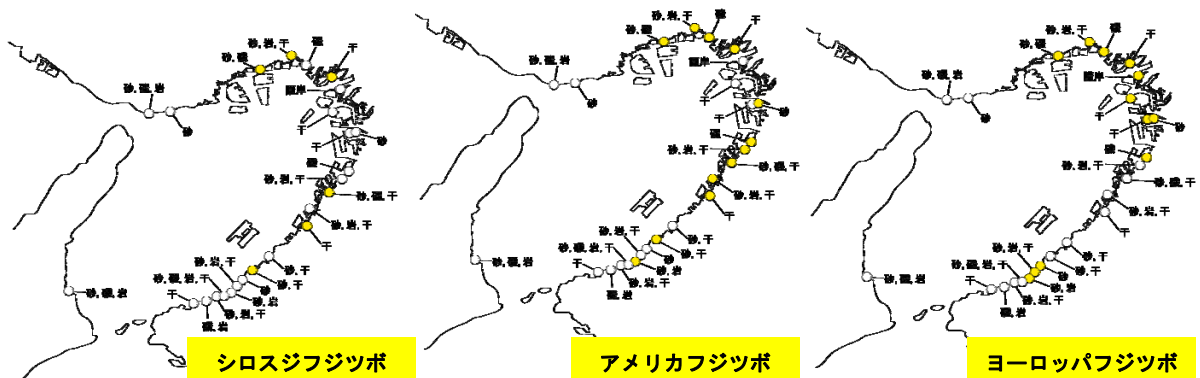
図4(1) 代表的な種の分布（貝類、ヤドカリ類）—平成30年度

フジツボ類

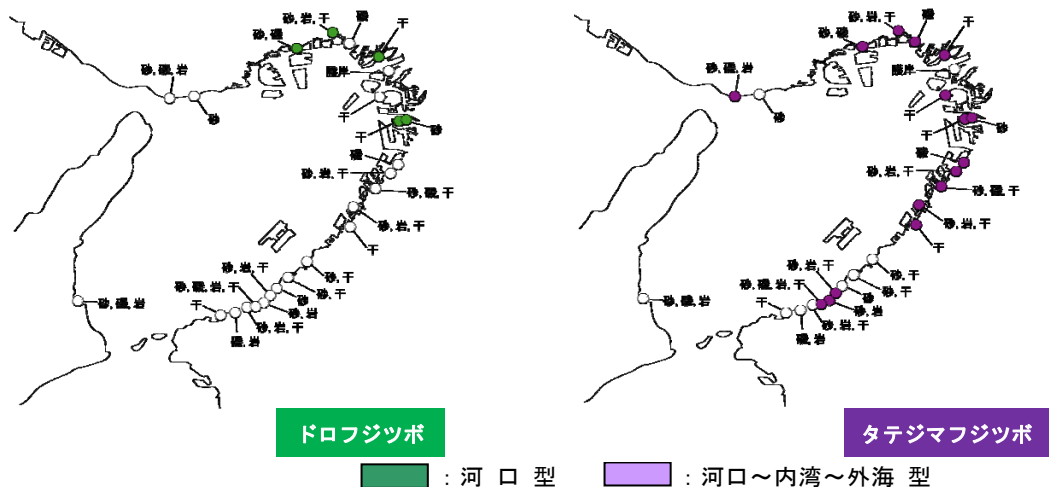
- 外海型のアカフジツボは大浜海岸のみで、クロフジツボは須磨—近木川ラインより湾口側で出現しました。



- 河口～内湾型のフジツボ類3種は湾中央～湾奥部で出現し、このうちシロスジフジツボは河口の地点で出現しました。



- 河口型のドロフジツボは主に湾奥で淡水の影響の強い河口付近の地点で出現しました。一方、広域型のタテジマフジツボは湾口側の地点を除く湾内のほぼ全域で出現しました。



- なお、アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかったことも考えられます。

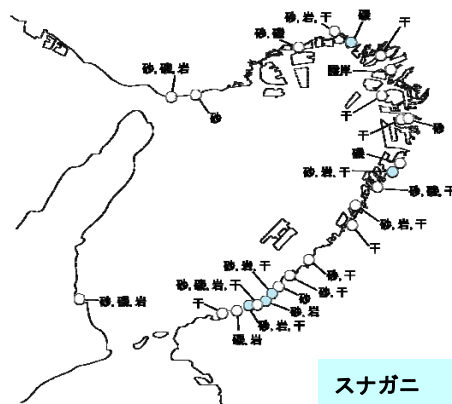
図4(2) 代表的な種の分布（フジツボ類）—平成30年度

カニ類

- 砂浜に生息するスナガニは、湾奥、湾中央および湾口寄りと位置の異なった地点で確認されました。湾内の地理的条件よりも、きれいな砂浜の存在が重要なようです。

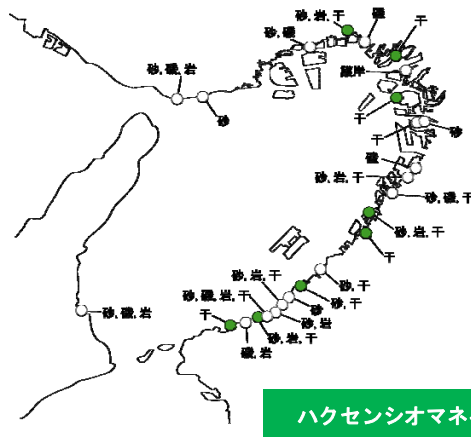
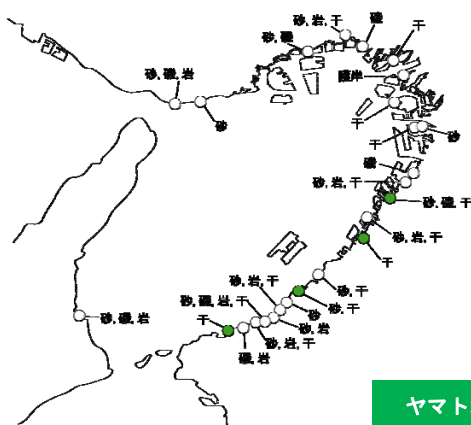
砂浜に生息する

□ : 内湾～外海 型



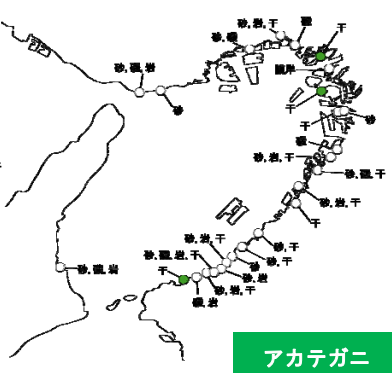
- 泥干潟に生息するヤマトオサガニは大津川・近木川・男里川・深日漁港干潟などの河口や泥質干潟のある地点で出現し、砂礫性のハクセンシオマネキはそれ以外の地点でも出現しました。

泥 <干潟に生息する> 砂泥、砂礫



- アシハラガニやクロベンケイガニ、アカテガニも河口のある地点等で出現しました。

砂泥・粘土質 <河口のヨシ原等に生息する> 草地・崖・石垣



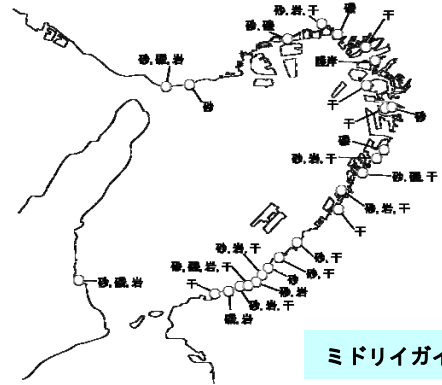
■ : 河 口 型

図4(3) 代表的な種の分布(カニ類) -平成30年度

外来種

- ミドリイガイは本年は確認されませんでした。ミドリイガイは主に潮下帯に着生し、潮間帯の観察では見つけにくいいため、出現地点は年により変わっています。

□ : 内湾～外海 型



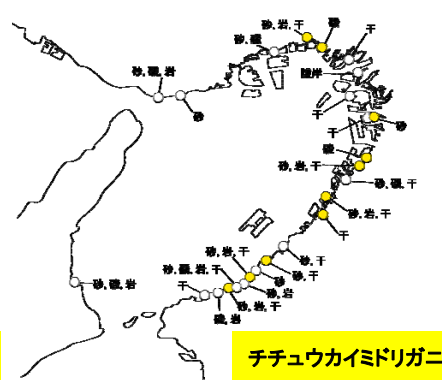
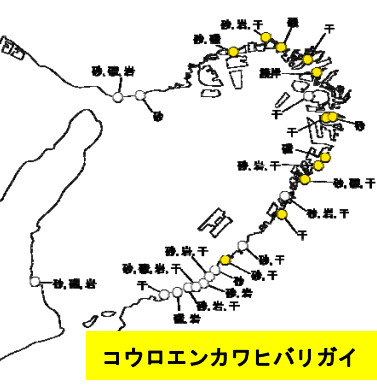
- ムラサキイガイは湾奥～湾口まで広域で確認されました。

□ : 河口～内湾 型

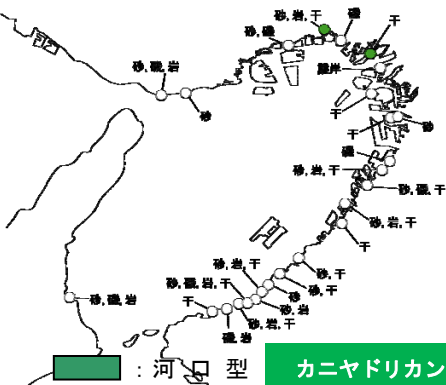


- コウロエンカワヒバリガイは湾中間域～湾奥で、チチュウカイミドリガニは湾口～湾奥の地点で出現しました。

□ : 河口～内湾 型



- 河口型のイガイダマシは本年は確認されませんでした。同じく、カニヤドリカンザシゴカイは香櫓園浜と矢倉海岸で出現しました。ウスカラシオツガイは湾奥～湾中間域の限定された地点で出現しました。



- 外来種の分布はムラサキイガイを除き、湾中間域～湾奥で多い傾向がみられました。

図4(4) 代表的な種の分布(外来種)ー平成30年度

### 3-2. 過年度との比較

調査シートのリスト掲載種について、平成 20～30 年度調査結果を併せて整理し、表 3 に示しました。

平成 20 年度の調査シート掲載種は 41 種でしたが、出現状況を踏まえ、平成 21 年度以降は一部の種の入替えや追加を行い、43 種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査地点の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更したり、同一地点内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

このため、11 カ年の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地点同士についてみると、おおむね種数は近似しており、同様の種が確認されている場合が多く、各調査地点における安定した出現特性が分かるようになってきました。







付表(1) 貴重種の出現状況一覧(平成30年度)

分類群	No.	和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2018年度版RL 3)	水産庁 RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	
海藻類	緑藻類	1 スジアオノリ				減少傾向			
	紅藻類	2 ホソアヤギス	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧				
海藻類	1 アマモ			アマモ場(生態系) :A					
	2 コアマモ		(絶滅危惧Ⅰ類)				希少		
植物 (調査シート記載種のみ)	1 コウボウムギ			絶滅危惧Ⅱ類					
	2 ハマゴウ			絶滅危惧Ⅱ類					
	3 ハマボウフウ			絶滅危惧Ⅰ類					
貝類	巻き貝類	1 アカシ				減少	危険		
		2 アダムスタマガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
		3 イシマキガイ				減少			
		4 イナザワハベガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)						
		5 イボウミナ	(絶滅危惧Ⅰ類)	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類			絶滅寸前	絶滅危惧Ⅱ類
		6 ウネボラ			絶滅危惧ⅠB類				
		7 ウミナメクジ		情報不足				危険	
		8 ウミナ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	減少傾向	危険	準絶滅危惧	
		9 エドイトカケリ			準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧
		10 エドガワミズゴマツボ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			危険	準絶滅危惧
		11 カワザンショウガイ		準絶滅危惧					
		12 クチケレガイ		情報不足					
		13 クリイロカワザンショウ属	(絶滅危惧Ⅱ類)						
		14 クロドリガイ						危険	
		15 サツマクリイロカワザンショウ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
		16 シボリガイ		準絶滅危惧					
		17 スオウチケレガイ			準絶滅危惧				準絶滅危惧
	18 スジウネリチョウジガイ			絶滅危惧Ⅱ類			希少	絶滅危惧Ⅱ類	
	19 ヒナユキスズメ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧			危険	準絶滅危惧	
	20 ヒモイカリナマコツマミガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類			危険	絶滅危惧Ⅱ類	
	21 フトヘナタリ		準絶滅危惧	準絶滅危惧			危険	準絶滅危惧	
	22 ホソウミナ		絶滅危惧Ⅰ類						
	23 マルウズラタマキビガイ						危険		
	24 ミヤドリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧			危険	準絶滅危惧	
	25 ムラクモキシビキガイ			準絶滅危惧			危険	準絶滅危惧	
	26 モロハタマキビ	(準絶滅危惧)		準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	27 ヨイトカケリ		情報不足				危険		
	二枚貝類	1 イワガキ					減少傾向		
		2 ウズザクラガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧				準絶滅危惧
		3 ウネナシトマヤガイ			準絶滅危惧			危険	
		4 オハクロガキ属		準絶滅危惧					
		5 クチバガイ			準絶滅危惧				
		6 サクラガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧				準絶滅危惧
		7 スジホシムシモドキヤドリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧				準絶滅危惧
8 ソトオリガイ			準絶滅危惧				危険		
9 ハカガイ			準絶滅危惧						
10 ヒメアサリ			準絶滅危惧						
11 ヒメカノコアサリ			準絶滅危惧						
12 フジナミガイ			絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類			危険	絶滅危惧ⅠB類	
13 マテガイ		要注目	準絶滅危惧						
14 ミルクイ		(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	減少	危険	絶滅危惧Ⅱ類		
15 ムラサキガイ		(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前	絶滅危惧Ⅱ類		
16 ヤマトシジミ		(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
17 ユウシオガイ		(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧			危険	準絶滅危惧	
多毛類	1 カワゴカイ属	(準絶滅危惧)							
	2 コケゴカイ	(準絶滅危惧)							
	3 スコカイソメ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類						
	4 スナイソゴカイ	要調査							
	5 タマシキゴカイ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧						
	6 ヤマトカワゴカイ	(準絶滅危惧) *1)	情報不足						
ヨコエビ・フレカラ類	1 オオサカドロソコエビ		絶滅危惧Ⅰ類	情報不足			準絶滅危惧		
ヤドカリ類	1 テナガツノヤドカリ			情報不足			準絶滅危惧		
	2 ヨモギホンヤドカリ			準絶滅危惧			準絶滅危惧		
カニ類	1 アカテガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)							
	2 アカホシマメガニ			準絶滅危惧			絶滅危惧Ⅱ類		
	3 アンハラガニ	(準絶滅危惧)							
	4 オサガニ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧		
	5 カネコブシ		準絶滅危惧	情報不足					
	6 キンセンガニ		準絶滅危惧						
	7 クロベンケイガニ	(準絶滅危惧)							
	8 スナガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧						
	9 スナガイソガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			希少	準絶滅危惧		
	10 トリウミアカイソモドキ	(絶滅危惧Ⅱ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧		
	11 ハクセンシオマネキ	(準絶滅危惧)		絶滅危惧Ⅱ類		危険	準絶滅危惧		
	12 ヒメヒライソモドキ		絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧			準絶滅危惧		
	13 マメコブシガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧		
	14 モクスガニ					減少傾向			
	15 ヤマトオサガニ	(準絶滅危惧)							
	16 ユビアカベンケイガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧		

付表(2) 貴重種の出現状況一覧(平成30年度)

分類群	No.	和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2018年度版RL 3)	水産庁 RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	
魚類	1	アイナメ			地域個体群				
	2	アユ		準絶滅危惧					
	3	ウキゴリ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
	4	タケノコメバル			準絶滅危惧				
	5	ニホンウナギ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧II類	絶滅危惧I類				
その他	腕足類	1	シャミセンガイ属	(絶滅危惧I類)					
	頭足類	1	ヒメイカ		絶滅危惧II類	減少			
	ホシムシ類	1	スジホシムシ	要調査		準絶滅危惧		普通/希少	準絶滅危惧
		2	スジホシムシモドキ	(絶滅危惧II類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧		普通/希少	準絶滅危惧
	等脚類	1	ヨツバコツブムシ		準絶滅危惧				
	アナジャコ類	1	ニホンスナモグリ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧II類				
	エビ類	1	エビジャコ属	(絶滅危惧II類)					
		2	テッポウエビ	(準絶滅危惧)					
	ウニ類	1	ハスノハカシバン	(絶滅危惧II類)	準絶滅危惧				
	ナマコ類	1	ヒモイカリナマコ	(絶滅危惧II類)	準絶滅危惧			危険	

注)

1) 兵庫県版 レッドリスト2014(貝類・その他無脊椎動物)、レッドリスト2010(植物・植物群落)、兵庫県版レッドデータブック2017(魚類)  
( )は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブックの相当カテゴリーに置換したもの。

2) 大阪府 レッドリスト2014

3) 環境省 レッドリスト(2018)、海洋生物レッドリスト(2017)

4) 水産庁,1998:日本の希少な野生水生生物に関するデータブック.社団法人日本水産資源保護協会.437pp.東京.  
評価「普通」は省略した。

5) WWF Japan Science Reprint vol.3,1996.

6) 日本ベントス学会編 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック-. 東海大学出版会. 神奈川県. 285pp.

7) 貴重種選定にあたり、基本的に水生動物を対象とし、陸上植物は本調査の調査シート掲載種に限定した。

8) 各評価の区分と定義概念は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。

絶滅危惧I類:現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。

絶滅危惧II類:現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。

準絶滅危惧:現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

情報不足:評価するだけの情報が不足している種。

地域個体群:地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

要注目種(兵庫):最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。

要調査種(兵庫):環境省レッドデータブックの情報不足に相当。兵庫県において評価するに足るデータがない種。

要注目種(大阪):「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。

減少傾向(水産庁):長期的にみて減少しつつあるもの。

減少(水産庁):明らかに減少しているもの。

希少(水産庁):存続基盤が脆弱な種・亜種。

危急(水産庁):絶滅の危険が増大している種・亜種(環境省に準ずる)。

危険(WWF):絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。

希少(WWF):特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。

普通/希少(WWF):地域により状況が異なる。

9) 表中網掛けは、今年度初確認の貴重種を示す。

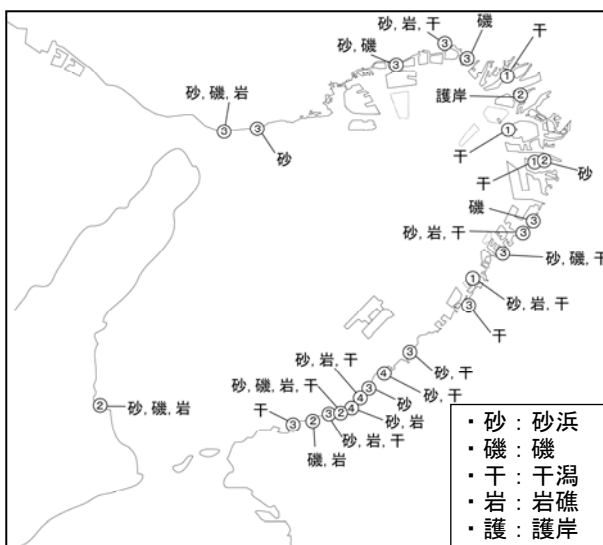
10) 貴重種記載資料の該当府県の場所で出現していない場合もある。

\*1) カワゴカイ属で記載されている。「カワゴカイ属」と重複するが、いずれも貴重種としてカウントした。

#### 4. 調査テーマ「タマキビ類」の結果

タマキビ類の本年の出現種数を図 5 に示します。タマキビ類は全 25 地点で 1 種類以上が確認されました。

3 種のタマキビ類については、アラレタマキビガイ及びタマキビガイは 21 地点、生息場所が汽水域のマルウズラタマキビガイは 20 地点と多くの地点で確認されました。男里川河口干潟、波有手海岸、西鳥取海岸では、アマモ葉上に生息するモロハタマキビを含め 4 種が確認され、出現種数が最も多くなりました。



注) ○印の中の数字が出現種数である。

図 5 タマキビ類の出現状況 (平成 30 年度)

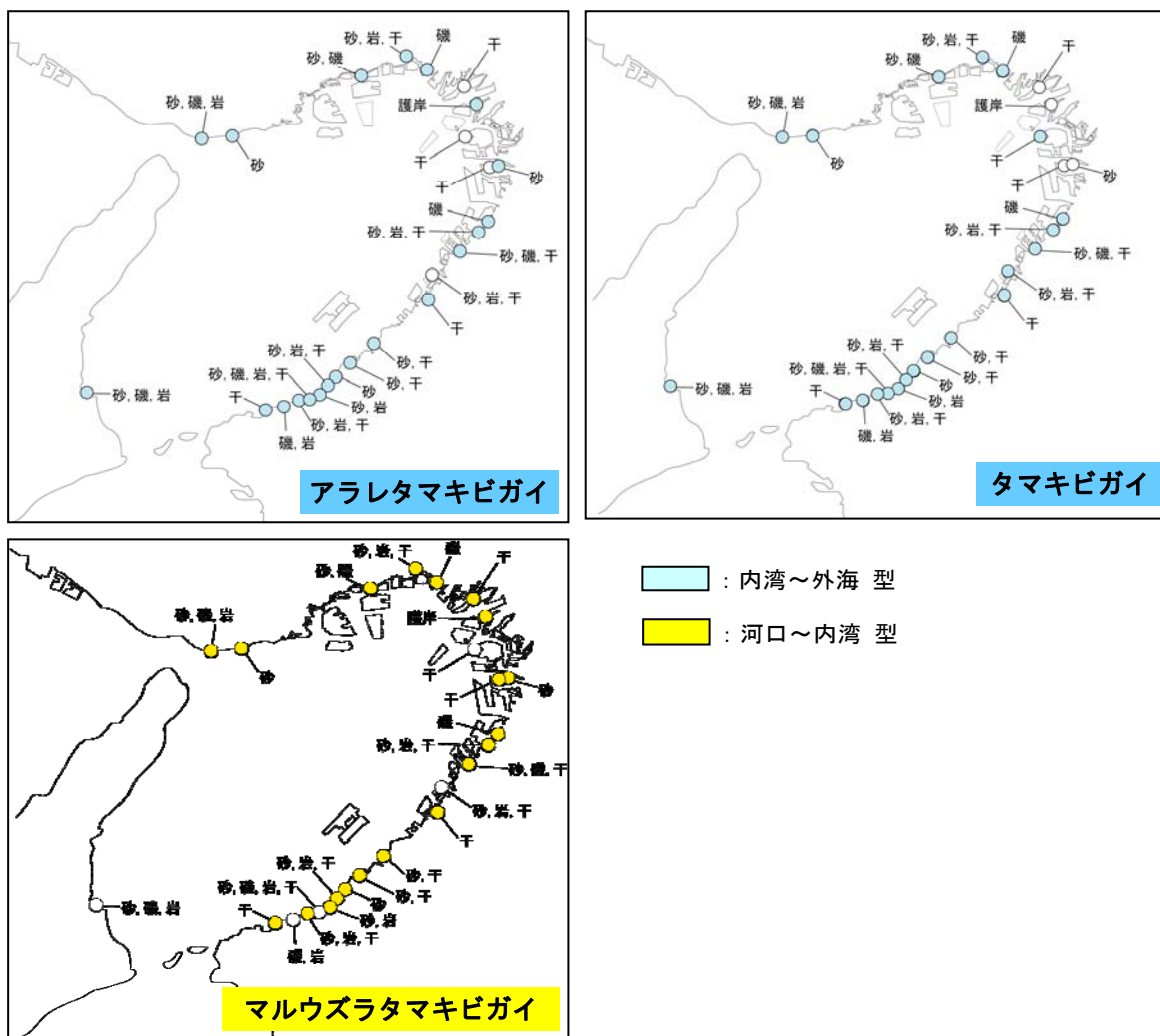


図 6 タマキビ類の分布状況

## 5. スナメリ調査

5月16日及び7月14日に図7に示す経路で調査を実施しました。

5月16日の調査では阪南市沖で1頭を確認しました。

7月14日の調査ではスナメリは確認されませんでした。なお、岬町深日付近でミナミバンドウイルカ、アカエイ、大阪湾南部でミズクラゲが確認されました。

かつて瀬戸内海には多くのスナメリが生息していましたが、現在ではほとんど目にする事がなくなりました。

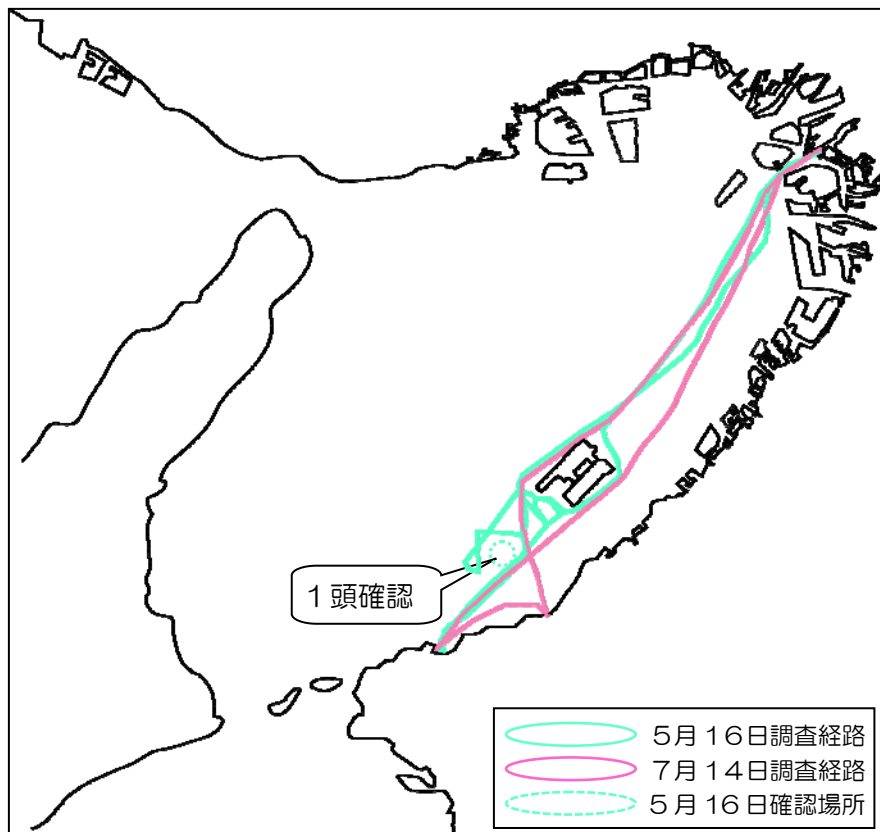


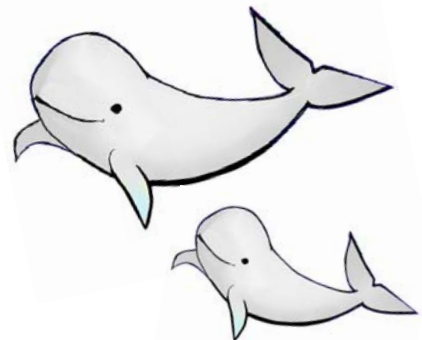
図7 スナメリ調査の経路と確認状況

### 【スナメリとは？】

水産庁のレッドデータブックに掲載されています。

- 英名：Finless porpoise
- 学名：*Neophocaena asiaeorientalis*
- 地方名：ナメ・ナメリ など
- 分類：クジラ目ハクジラ亜目 ネズミイルカ科
- 体長：最大2m程度
- 大阪湾におけるスナメリの生態的位置づけ：

スナメリの生息は健全な沿岸生態系のひとつの指標



スナメリ

【変更履歴】

- 2026.3 P02 コメントの変更
- 2026.3 P18 付表（1）の差し替え
- 2026.3 P19 付表（2）の差し替え